

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年1月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500117
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム もぜ
所在地	鹿児島県いちき串木野市春日町24番地 (電話) 0996-32-3033
自己評価作成日	令和5年11月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・市街地の中の施設である事から入居者様と徒歩で買い物に行く事が出来る為にIADLの訓練にも適した環境である。
- ・医療連携を取っている病院が近い為に早期の段階で対応出来る
- ・協力医療機関に歯科も含まれており口腔洗浄の指導や義歯の調整や相談も出来る環境が整っている
- ・水害時は3階建ての施設を活かした避難方法がある
- ・入居者の家族様に極力負担に掛からない様に施設の職員で代行出来るサービスを実施している(マイナンバーカード申請など)
- ・古い建築物により老朽化が目立ちますが装飾で明るい雰囲気を作れるように工夫している。

- ・当事業所は、運営母体の医療法人と近距離にあり、緊急時を含めた24時間医療連携体制が築かれている。また、コロナウイルスのクラスター発生時は職員の応援がある等、法人内の協力体制が整っている。
- ・感染予防のため、家族との居室面会は実施していないが、玄関での対面面会により相互の安心と精神の安定が図られるよう支援しており、家族の要望に沿って法事への参加も行われている。また、事業所においても毎月2回の電話での近況報告や隔月の広報紙送付で、家族とのつながりが途切れないように取り組んでいる。
- ・管理者は、職員の数が限られる中でグループLINEを活用して職員間の調整と意見の反映に努め、前向きに仕事に取り組めるよう図っている。
- ・管理者は、職員の質の向上のため研修受講や資格取得を勧めており、法人での費用補助もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有に関しては施設内に数ヶ所張り出しており、いつでも確認出来る。その人らしさを引き出し毎日、笑顔で過ごしてもらえる様に支援している	理念を各ユニットの目につきやすい2ヶ所に掲示し、管理者と職員は理念を共有してケアに当たっている。理念はパンフレットにも掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	インフォーマルサービスの活用として町内会との交流を継続する為に行事には参加させていたが、新型コロナウイルスの流行以降は頻度が極端に減っている	自治会に加入し行事等は把握しているが、利用者の行事参加は困難な状況である。地域住民と一緒に法人の夏祭りに参加したり、散歩時の住民とのあいさつや受診時に知人からの声掛け程度の交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族や地域から出た疑問や不安に対して専門職としての意見を伝えている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者家族、地域の方々の意見や要望を県として実行に移している	2ヶ月に1回の運営推進会議は書面開催を継続している。委員の意見は電話連絡時に把握しており、資料等でコロナ感染症予防対策等への理解を深めてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	不明な点があれば市町村担当者に連絡して助言をもらっている。また市町村からの連絡事項はファイリングして保存している	市の担当者からメール連絡を受けたり、窓口に出向いて相談・報告を行う等で、相互の連携を図っている。市主催の研修会は対面やリモートでの研修に参加し、連携や情報収集に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年に2回の研修・勉強会の実施、3ヵ月に1回は委員会による検討会を実施している	指針があり、委員会を3ヶ月に1回、研修会を年2回実施し、研修会ではグレーゾーンについて取り上げている。不適切な言葉は管理者がその場で注意を促している。玄関は防犯上施錠しているがユニット入り口は施錠せず、利用者が外に出たいときは散歩に同行する等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3ヵ月に1回は委員会による検討会を実施し、ディスカッションを行い情報を共有している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的な研修には参加して研修内容を他の職員に周知しているが今年度は権利擁護の研修には参加出来なかった		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書の内容が専門的な用語や入居者様の家族も高齢である事から言葉を変えて相手の理解度を確認しながら契約を行っている。不安な点は残さず疑問点には明確に返答出来る様に努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を活用しているが直接電話等の問い合わせが多い。ご家族の要望や苦情等を職員と共有して改善に努めている</p>	<p>利用者の要望は日常会話の中や家族の情報で把握し、アルコールや好物の希望は食事等で提供している。家族の要望は月2回電話での近況報告時等に聞いて対応に努めており、家族の要望を受けて法事にも出席できている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>以前は毎月1回の頻度の開催されていた職員会議で意見等に対して議論していたが昨今では意見が挙げたタイミングで早期にディスカッションしている</p>	<p>管理者は、職員の相談や提案を随時受けており、グループLINEで他の職員の意見をもらって反映できるように努めている。個別相談は、管理者または副主任が対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の仕事に対する熱量は様々である事から仕事に対してのやりがいを引き出す動機やきっかけ作りは慎重に行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月開催されている法人内の勉強会への参加や法人開催以外の研修等への参加も促している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設が開催されている研修や勉強会に参加させていただき、様々な意見を取り入れてサービスの向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	寄り添うケアを念頭に置いてその人の思いに気付けるように心掛けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にご家族の要望や疑問点が抽出できるように配慮している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族と管理者、計画作成者が連絡と取りあう頻度が多く設けてサービスに反映するようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者との支援の合間に雑談や対話でコミュニケーションを取り合いながら人同士の付き合いを意識している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の要望に対して可能な限り対応出来るように努めている。連絡を密に取る事で良好な関係性を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域での行事には出来るだけ多くの入居者を参加出来る様に努めている	家族の面会や電話での交流を支援し、事業所から電話で近況報告を行うことで家族とのつながりが途切れないように努めている。また、希望で墓参りや買い物に同行したり、自宅付近へのドライブも行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の相性等も考慮して席を決定している。性格や聴力声量、話す方が好きか、聞き手に専念するかなど		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内の医療機関への入院や他施設への入所されるケースもある為に契約終了後も家族との関りがある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いに気付いた段階で記録し職員で共有出来るように努めている	家族の情報を参考に、日常会話で本人の意向を把握できるように努めており、申し送りノートや記録で職員間の情報共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所が決定した段階で入居者の過去の生活等の情報を共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りの中で入居者の個々の変化を話し合い職員間で共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	多職種の意見を取り入れてサービス計画書の作成に努めている	電話や面会時に家族の希望を把握し、日常業務の中で聞いた担当及び他の職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月毎に実施している。状況変化時等の必要時にも現状に即した計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報共有の漏れが無いように介護・生活記録に記載。1日2回の申し送り反映している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者家族が面会の為に来所される際には近況報告をする場を設けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域開催の常時への参加や他施設、自施設への行事の参加する機会を作っている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>他科受診や訪問歯科は家族の要望や主治医からの必要性に応じて取り入れている</p>	<p>契約時に母体医療機関がかかりつけ医になることを了解している。毎月の定期受診及び必要時の受診は職員同行で実施し、他科受診は家族の協力も得て対応し、職員対応時は結果を家族に報告している。緊急時はかかりつけ医の指示を受けて行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の変化への気付きは全職員で共有するように努めている。それに対して連携先の医療機関の相談して受診出来る流れとなっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関に入院された際はソーシャルワーカーとの連絡頻度を多く設けて入居者家族が安心して退院、再入所に繋げられるように努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化によりグループホームでの生活が困難な場合は入居者家族の意向や今後の生活場を変更する必要性に対して話し合いを設けている。また法人内の医療機関、介護老人保健施設等にも相談を持ちかける</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書をもっている。入居後に、家族の意向確認を頻回に実施し、状況変化に応じた選択肢の説明も行っている。入院の希望が多い。看取り介護の事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的開催されている勉強会にて知識や技量を身に付ける機会を設けている。経験のある職員からの助言や指導も効果があると考えられる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を年2回実施している。消防や評価機関からの意見をいただき実際の災害時に備えている</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施し、年1回消防署の立ち合いを受けている。コロナ禍後は地域への声掛けは控えているが、緊急通報装置に町内会長の登録協力を得ている。非常用の備蓄は、3日分の水・米・レトルト食品・缶詰等の食料とカセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者それぞれに対して話し方や言葉の選択に配慮している。特に自尊心には留意して接している</p>	<p>自己研修用資料を職員に配布し、個々に研鑽している。さん付けでの呼びかけ、入室時・ケア前の声掛け等、誇りやプライバシーを損ねないよう、一人ひとりに応じたケアに努めている。申し送りはリビングで行い、内容が利用者にわからないよう配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者との会話の中で要望等を聞き出せるように努めている。またその内容を職員間で共有し実現出来るように努めている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の希望する時間で就寝や入浴、食事の提供を行っている。食事に関しては同じタイミングで召し上がる事を希望する入居者がほとんどである</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝、起床時の整容と2ヶ月に1回ペースでの訪問理容を取り入れている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者個々の能力を把握して台を拭く作業や食器の片付け等を行っている。また職員は食事と一緒に摂る時間を作るように努めている	献立は当日に作成し、調理担当職員が刻み食等に調理している。利用者も調理や盛り付けを手伝っている。季節の行事食や誕生会のケーキ・好物の提供、おやつ作り等で食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量は毎日記録しており個々の健康状態に留意している。食事や水分が進まない方には嗜好品で対応する工夫を用いている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアに関しては自身の歯が残っている方は3分間を目標にブラッシングを頑張っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して個々の排泄パターンを把握出来るようにしている。また自尊心を傷付けないように出来る部分と出来ない部分を見極めて介助を取り入れる	座位が取れない利用者を除いて、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄パターンを参考に声掛け・誘導を行っており、排泄の失敗が減少したり、布パンツ使用を維持している事例がある。夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	基本的には十分な食事や水分摂取を促しているが、それでも排便の周期が滞る方には乳製品や運動療法を取り入れている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	出来るだけ入居者の希望に添える時間帯で入浴をしていただいている。また入浴に関心を持てる様な声掛けや誘導に工夫を用いている	週3回希望の時間帯で入浴している。身体状況により2人介助やシャワー浴を実施し、入浴剤を使用して個浴を楽しんでいる。汚染時は陰洗やシャワー浴で保清に努めている。嫌がる場合は、職員や時間・入浴日を変えて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態を把握した上で本人の希望に応じて休んでいただく		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬に関しては処方箋を確認出来るようにファイリングしている。臨時薬や頓服で使用した際は申し送りでも周知する		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	主治医の了承を得て一時的な外出や嗜好品の提供を取り入れて気分転換を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出レクリエーションや買い物レクリエーション、ドライブなどを定期的に行っている。入居者の希望に添えるような内容を検討して実行している</p>	<p>公園への散歩をしたり、年間計画を立てての外出やその日の希望でドライブに出かける等、できるだけ外出できるように努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>IADL訓練として買い物レクリエーションで現金を手にした働き職員付き添いで実践している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人や家族の要望に応じて電話を取り次いでいる</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールの壁には季節ごとに折り紙で作成した装飾を掲示している。日中は自然光が入るように居室のドアを少しだけ開けさせていただいている</p>	<p>ホールは空気清浄機やサーキュレーター、エアコンで適度な室内環境に調節している。窓を開けて換気も行っている。季節の飾りつけがされた室内で利用者が思い思いにくつろげるよう、ソファも置かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同スペースに2ヶ所ソファを設けており少し距離を保てる空間の配慮に努めている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物、入居者が持参した家具などの設置をしている</p>	<p>居室には、ベッドや衣装ケース・エアコンが備えてある。本人の使い慣れた寝具やいす・テーブル・ラジオ・時計を持ち込んだり、好みの本や写真・新聞等を読んだりして、居心地よく過ごせるような部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>必要な個所に手すりを設置して安全に配慮している。また新聞や雑誌などが手に届くところに配置する事で自由に楽しんでいただいている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない